

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公表番号】特表2007-514798(P2007-514798A)

【公表日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2007-021

【出願番号】特願2006-536078(P2006-536078)

【国際特許分類】

C 0 9 B	57/00	(2006.01)
C 0 9 B	67/22	(2006.01)
C 0 9 D	11/02	(2006.01)
C 0 9 D	11/16	(2006.01)
C 0 9 D	201/00	(2006.01)
C 0 9 D	5/02	(2006.01)
C 0 9 D	5/03	(2006.01)
C 0 9 D	7/12	(2006.01)
C 0 8 K	5/34	(2006.01)
C 0 8 L	101/00	(2006.01)
G 0 2 B	5/22	(2006.01)
C 0 7 D	487/04	(2006.01)
A 6 1 K	8/49	(2006.01)
B 4 1 M	5/00	(2006.01)
B 4 1 M	5/385	(2006.01)
B 4 1 M	5/39	(2006.01)
G 0 3 G	9/09	(2006.01)
G 0 2 B	5/20	(2006.01)
A 6 1 Q	1/02	(2006.01)
A 6 1 Q	1/06	(2006.01)
A 6 1 Q	3/00	(2006.01)

【F I】

C 0 9 B	57/00	Z
C 0 9 B	67/22	F
C 0 9 D	11/02	
C 0 9 D	11/16	
C 0 9 D	201/00	
C 0 9 D	5/02	
C 0 9 D	5/03	
C 0 9 D	7/12	
C 0 8 K	5/34	
C 0 8 L	101/00	
G 0 2 B	5/22	
C 0 7 D	487/04	1 3 7
A 6 1 K	8/49	
B 4 1 M	5/00	E
B 4 1 M	5/26	K
G 0 3 G	9/08	3 6 1
G 0 2 B	5/20	1 0 1
A 6 1 Q	1/02	
A 6 1 Q	1/06	

A 6 1 Q 3/00

## 【手続補正書】

【提出日】平成19年9月28日(2007.9.28)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

## 【請求項1】

コハク酸エステルを、少なくとも1つの非置換又は置換の芳香族又は複素環式芳香族二トリルと反応させることによる、式(1)：

## 【化1】



## [式中、

$A_1$ 及び $A_2$ は、それぞれ他と独立に、芳香族又は複素環式芳香族ラジカルである]で示される、少なくとも2種の構造的に異なるジケトピロロピロール顔料を含むことを特徴とする混合物の製造方法であって、この反応を、式(2)：

## 【化2】



## [式中、

$A$ は、芳香族又は複素環式芳香族ラジカルであり、

$R_3$ は、水素、ハロゲン、メチル、メトキシ、-CF<sub>3</sub>又は-CNであり、

$R_4$ は、直鎖、又はC<sub>3</sub>以上は場合により分岐のC<sub>1</sub>-C<sub>30</sub>アルキル、C<sub>6</sub>-C<sub>10</sub>アリール又はC<sub>6</sub>-C<sub>24</sub>アラルキルラジカルであり、

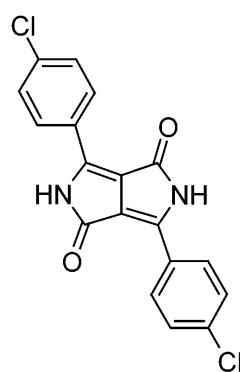
Xは、-S-、-O-、-CR<sub>5</sub>R<sub>5'</sub>、-、-COO-、-CONR<sub>5</sub>-、-SO-、-SO<sub>2</sub>-、-SO<sub>2</sub>NR<sub>5</sub>-又は-NR<sub>5</sub>-であり、そして

R<sub>5</sub>及びR<sub>5'</sub>は、それぞれ他と独立に、水素、又は直鎖、若しくはC<sub>3</sub>以上は場合により分岐のC<sub>1</sub>-C<sub>30</sub>アルキル、C<sub>6</sub>-C<sub>10</sub>アリール若しくはC<sub>6</sub>-C<sub>24</sub>アラルキルラジカルである]で示される少なくとも1つの化合物の存在下で行うことを特徴とする方法。

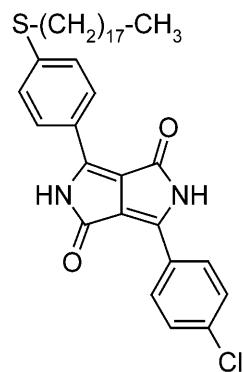
## 【請求項2】

下記式：

【化3】



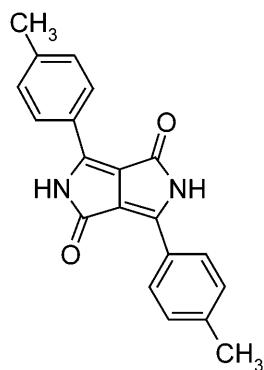
及び



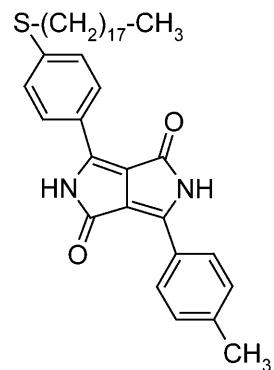
で示されるジケトピロロピロール顔料、又は

下記式：

【化4】



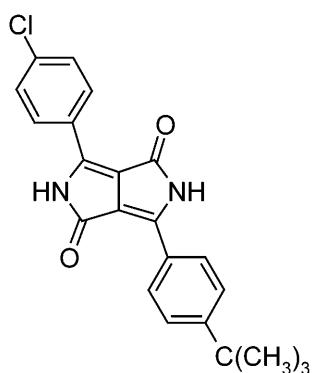
及び



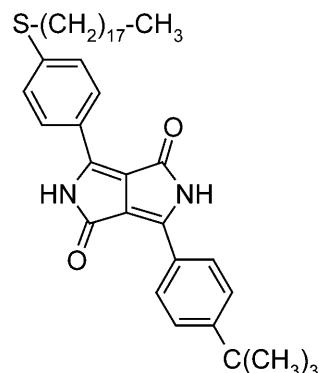
で示されるジケトピロロピロール顔料、又は

下記式：

【化5】



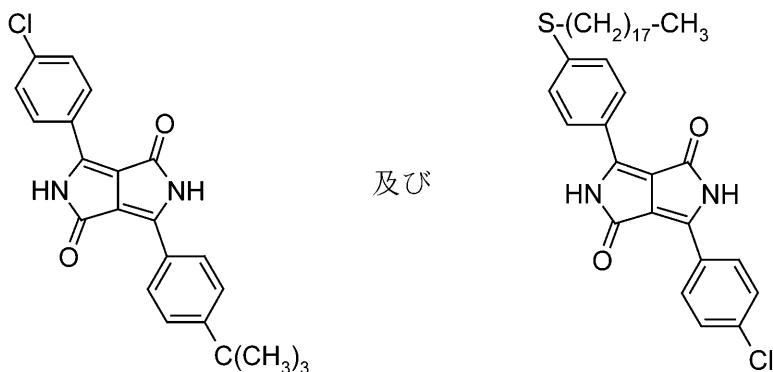
及び



で示されるジケトピロロピロール顔料、又は

下記式：

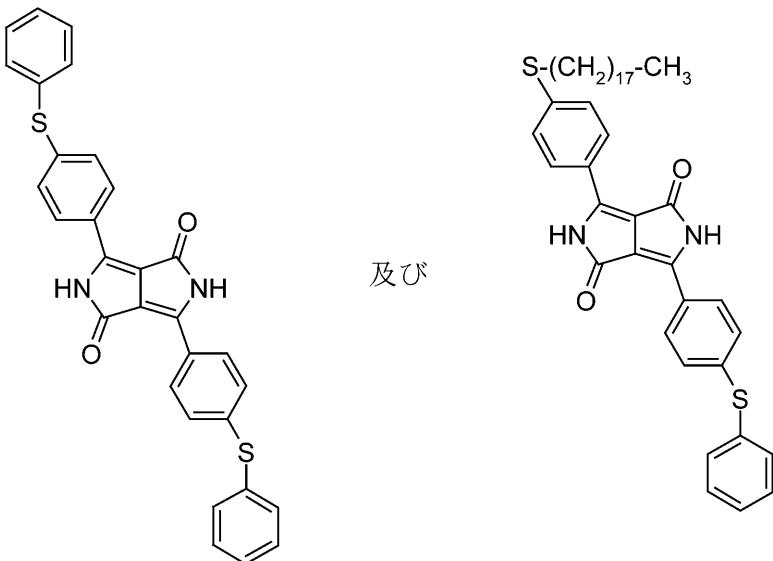
## 【化6】



で示されるジケトピロロピロール顔料、又は

下記式：

## 【化7】



で示されるジケトピロロピロール顔料を含むことを特徴とする混合物。

## 【請求項3】

請求項2記載の混合物の製造方法であって、式(51)：

## 【化8】



[式中、 $\text{R}_8$ は、塩素、メチル、tert-ブチル、フェニル又は-*S*-フェニルである]で示される化合物及び式(52)：

## 【化9】



で示される化合物を、コハク酸ジエステルと反応させるか、又は

式(51)の2種の構造的に異なる化合物及び式(52)の化合物よりなる混合物を、コハク酸ジエステルと反応させることを特徴とする方法。

## 【請求項4】

着色プラスチック又はポリマー着色剤粒子の製造方法であって、これらの材料に、請求項1記載の本発明により製造されるジケトピロロピロール顔料混合物又は請求項2記載の本発明のジケトピロロピロール顔料混合物を混ぜ込むことを特徴とする方法。

【請求項5】

着色プラスチック又はポリマー着色剤粒子の製造における、請求項1記載の本発明により製造されるジケトピロロピロール顔料混合物、又は請求項2記載の本発明のジケトピロロピロール顔料混合物の使用。

【請求項6】

請求項5により着色されたプラスチック又はポリマー着色剤粒子。

【請求項7】

印刷プロセスにおける印刷インク用の、フレキソ印刷、スクリーン印刷、パッケージングの印刷、機密保護カラー印刷、凹版印刷若しくはオフセット印刷用の、印刷の予備段階用、及びテキスタイルの捺染用、オフィス若しくは家庭使用のための、又はグラフィック応用のための、ボールペン、フェルトペン、サインペン、ボール紙、木、(ウッド)ステイン、金属、スタンプパッド用のインクの、あるいはインパクトプリンティングプロセス(インパクトプリンティングインクリボンを用いる)用のインクの製造における、

工業用又は商業用使用のための、テキスタイル装飾及び工業的ラベル付け用、コイル被覆若しくは粉体塗装のための、又は自動車塗装のための、ハイソリッド(低溶剤)、水性若しくは金属塗料のための、又は水性塗料用の着色配合のための、鉱油、潤滑グリース若しくはワックスのための、表面被覆剤の製造における、

デジタル印刷用、熱転写ワックス印刷、インクジェット印刷若しくは熱転写印刷用の、ノンインパクトプリンティング材料の製造における、

トナー、乾式コピートナー、液体コピートナー又は電子写真トナーの製造における、

請求項1記載の本発明により製造されるジケトピロロピロール顔料混合物、又は請求項2記載の本発明のジケトピロロピロール顔料混合物の使用。

【請求項8】

カラーフィルターの製造における、請求項1記載の本発明により製造されるジケトピロロピロール顔料混合物、又は請求項2記載の本発明のジケトピロロピロール顔料混合物の使用。

【請求項9】

少なくとも1つの、請求項1記載の本発明により製造されるジケトピロロピロール顔料混合物、又は請求項2記載の本発明のジケトピロロピロール顔料混合物を含むことを特徴とする、高分子量ポリマー材料を用いて製造される、カラーフィルター。

【請求項10】

総重量に基づいて、

a) 0.0001~20重量%の少なくとも1つの、請求項1記載の本発明により製造されるジケトピロロピロール顔料混合物、又は請求項2記載の本発明のジケトピロロピロール顔料混合物、及び

b) 80~99.9999重量%の化粧品として適切なキャリヤ物質を含むことを特徴とする、化粧品調合物又は組成物。

【請求項11】

ステイック、軟膏、クリーム、エマルジョン、懸濁液、分散液、粉末又は液の形である、請求項10記載の化粧品調合物又は組成物。